



3つの顔を持つオープンフェイス UP-TOWN

街を駆け抜ける時や、のんびりとクルージングに出かける時などは、開放的なオープンフェイスが気持ちよいものです。でも昔ながらのジェット型だと古臭い機能的にも劣ってしまいます。だからといってSZをかぶるほど本格的に走り込むわけでもない。そんな気分の時に、いわばスーツにも似合うオープンフェイスとして登場したのがUP-TOWNです。

UP-TOWNのポイントは、その特徴あるハーフシールドとバイザーです。

ハーフシールドは、サイドに大きなRを描くことにより、サングラス感覚の引き締まったスタイルとしただけでなく、内側への巻き込みを驚くほど軽減させています。もちろん息はシールドに当たりますからこもることもありません。走行条件にもよりますが120キロ位までのクルージングでは非常に快適です。

UP-TOWNバイザーは、光を遮るだけでなく、エア抜けが良く、高速でのふらつきもありません。実を言うと、UP-TOWNバイザーのルーツは交通機動隊、いわゆる白バ



- モデル名：アップタウン
- 規格：SNELL95 JIS-C種 cLo構造
- 色：白、黒、プライトシルバー
- サイズ：(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格：¥28,000

イ用としてつくられたもので、それを基に進化したのが今のカタチです。だから高速でのテスト走行にも、念を入れ開発されています。

そして、UP-TOWNは、その日の気分や走行状態によって、3つの顔を使い分けることができます。ハーフシールドとバイザーを取り付けた標準スタイル。バイザーだけのオープンフェイススタイル。ハーフシールドだけのコンペティションスタイル。まったく異なる3つの顔を持ちながら、そのどれもが見劣りすることのない魅力的な顔に仕上がると、標準スタイル以外の顔にも気を配ったスタイリングがなされています。

安全性能は、スーツの似合うオープンフェイスにここまで必要かとの声も聞こえてきそうですが、世界で最も厳しいとされるスネル95規格をUP-TOWNでも取得しています。どんなバイクに乗っていても、万一の危険性に差異はありません。ヘルメット本来の目的には、決して手を抜かないアライの姿勢のあらわれです。